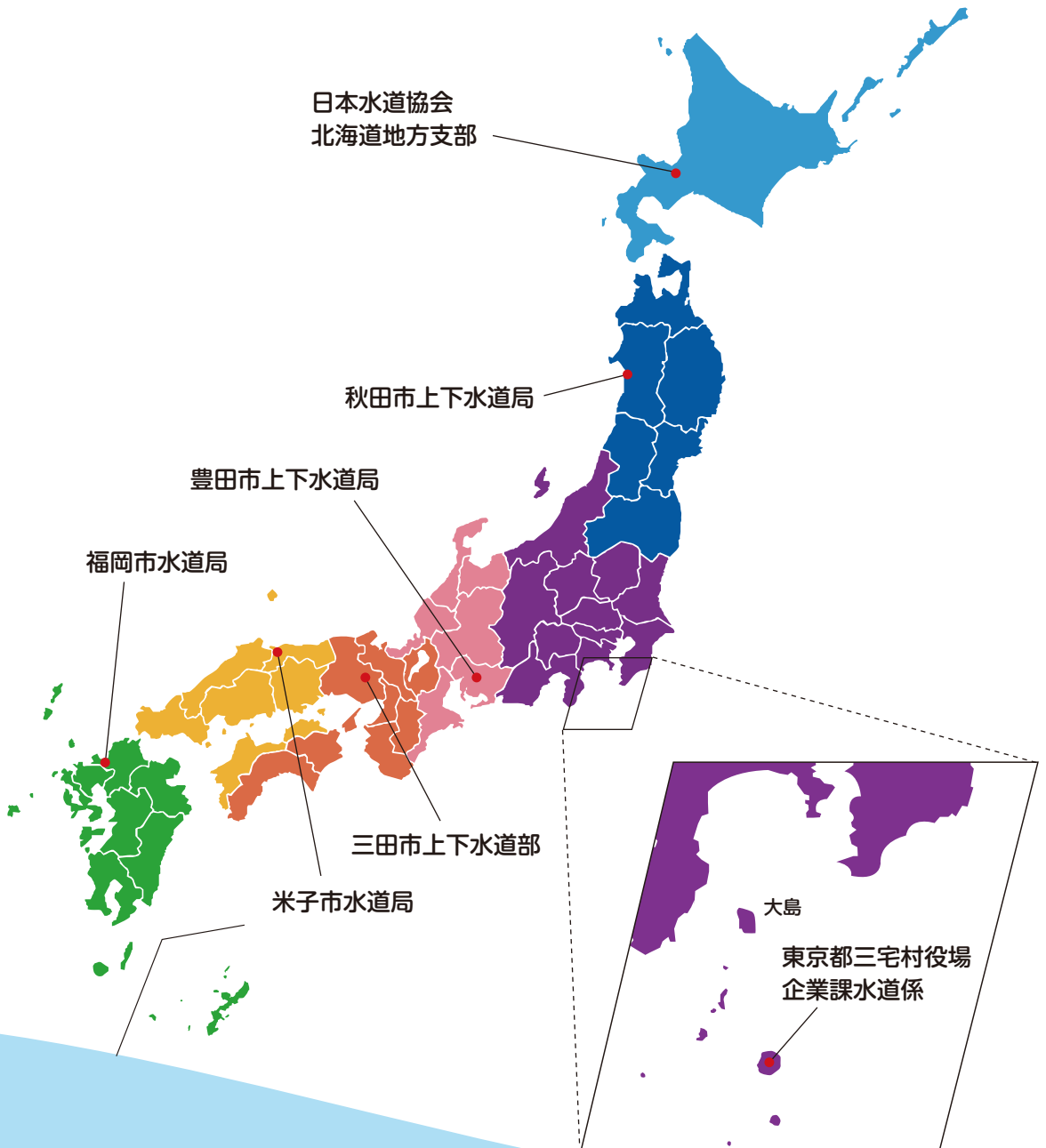


111号でご協力いただいた事業体





北海道支部

## 日本水道協会北海道地方支部

### 「千島海溝沿い超巨大地震検討小委員会」の取組

組織体制	
委員長	札幌市水道局
副委員長	旭川市水道局、 釧路市上下水道部
委員	旭川市水道局、小樽市水道局、 釧路市上下水道部、 苫小牧市上下水道部、 函館市企業局、室蘭市水道部
事務局 オブザーバー	札幌市水道局 北海道

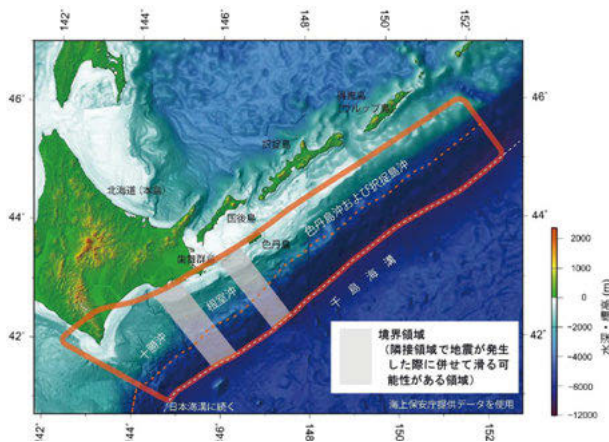


検討会の様子(令和元年5月)

平成29年12月、政府の地震調査研究推進本部が、今後30年以内に千島海溝沿いで超巨大地震(M8.8程度以上)が発生する確率が7~40%であることを公表しました。この公表を受け、日本水道協会北海道地方支部では、平成30年5月、超巨大地震により水道施設が被害を受けた際の受援・応援体制の構築に必要な調査及び検討を行うことを目的として「千島海溝沿い超巨大地震検討小委員会」を立ち上げました。

この小委員会では、令和元年5月に第1回検討会を開催してから、これまでに計7回の検討会(研修会を含む)を開催しており、以下の取組を進めています。

検討事項	活動実績
想定される地震と水道施設の被害状況	被害想定に基づく水道施設の被害調査
被災事業者への応援態勢	受援モデルのイメージ作成
道内における給水車の応援可能状況	応援派遣が可能な給水タンク車の状況調査
備蓄物資に関する状況の確認	備蓄物資の状況調査
応急復旧資機材の確保・調達に関する調査	協定の締結(令和3年7月「災害時における資機材の供給協力に関する協定」一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会)
応援活動に必要な情報の整理・準備	各地区の図面及びマニュアル類集約
給水基地・中継施設のリスト化	各リスト作成
受援・応援マニュアルの作成	各種課題整理
他地方支部からの応援可能状況	応援派遣が可能な人員や積雪寒冷地仕様の給水タンク車の状況調査



地震調査研究推進本部事務局。「超巨大地震(17世紀型)」。文部科学省  
[https://www.jishin.go.jp/regional\\_seismicity/rs\\_kaiko/rs\\_tokachi-etorofu\\_17th/](https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_kaiko/rs_tokachi-etorofu_17th/)

近年は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、参集会議とWEB会議を使い分けて検討会を開催しています。

令和4年度は、津波災害警戒区域を有する市町を対象に実施した、超巨大地震の被害想定に基づく水道施設の被害調査を取りまとめ、受援・応援マニュアルの作成に向けた取組を実施する予定です。

また、危機意識の共有や情報伝達経路等の確認、受援・応援体制の確立を目的とした、各地区との連携による災害対策訓練を実施するための準備を進めています。

北海道地方支部では引き続き、超巨大地震の発災に備え、地方支部内の更なる体制強化を図るとともに、道内外の水道事業者や関連団体との相互連携を深めていきます。



東北支部

## 秋田市上下水道局

### 風力発電による停電時の電力確保に向けた取り組み



秋田国見山第二風力発電所

毎年のように大規模な自然災害が全国各地で起こっています。水道施設が被災し、広範囲の断水が発生した場合、市民生活に重大な影響を及ぼすことから、その影響を最小限に抑える対策を進めていくことが、水道事業者の使命と考えています。

秋田市上下水道局では、災害等による停電時に、風力発電による電力供給システムを確立しています。これは、2011年3月の東日本大震災を教訓とした停電対策の一つです。震災当時、本市では長時間の停電により、電気の復旧があと少し遅れたら配水池容量が空になるといふ、断水寸前の事態を経験しました。この教訓から、主力浄水場の一つである豊岩浄水場に非常用発電機を設置するとともに、民間事業者が売電を目的に計画していた秋田国見山第二風力発電事業に出資し、停電時に風力発電から無償で受電できる体制を日本で初めて構築しました。風力発電から供給される電力は、場内に設置されている蓄電池を経由して送電され、風速5.0m/秒以上であれば、風力発電機4基によって、豊岩浄水場の機能維持に必要な電力量が常に発電されることとなります。

人の生活に欠かせない水を、いつでも使うことができる「あたりまえ」を、今後も市民の皆様様に供給できるよう、持続可能な水道サービスの実現を目指し、業務を遂行していきたいと考えています。



豊岩浄水場の場所



豊岩浄水場



秋田市上下水道局  
マスコットキャラクター  
「カンちゃん」



関東支部

## 東京都三宅村役場企業課水道係

### 東京都の南に浮かぶ火山島・三宅島 活火山地域で安定給水を確保



工事写真



国の天然記念物「アカコッコ」

三宅島、ここは東京から南へ約 180kmの位置にある、東京の山手線内側とほぼ同じ大きさの島で、給水人口は約 2,400 人、保有している管路延長は約 104km。富士火山帯に含まれる島の大部分は、富士箱根伊豆国立公園に指定されています。

ここ 100 年間に 4 回の噴火活動が起きており、島内には度重なる噴火でできたジオスポットが多数存在しています。

島内の水源は、過去の水蒸気爆発によって形成された火口湖、大路池(たいろいけ)周辺の地下水を膜ろ過処理にて使用している他、10カ所の井戸を利用しています。

現在は管路の耐震化、適切な流量の確保を目的に管路更新を進めており、φ50についてはS50形ダクタイル管を採用しています。昨年度は阿古地区、神着地区で布設工事を実施するなど、島の安定給水確保のため、計画的な更新を実施しています。

火山のイメージが強い三宅島ですが、黒潮が直接あたる影響で近海では珊瑚の群生や大型回遊魚、色鮮やかな熱帯魚など様々な生き物と出会え、柱状節理や海中アーチなど火山島ならではの独特かつダイナミックな地形が海中に広がっております。また、国の天然記念物である「アカコッコ」や「カラスバト」、「イジマムシクイ」などの限られた地域でしか見る事の出来ない野鳥が観察できるなど、火山以外にも大自然の魅力が詰まっています。是非この記事をきっかけに三宅村まで足を延ばしてはいかがでしょうか。



溶岩流の上に敷かれた「火山体験遊歩道」



大路池(およそ 2500 年前の噴火でできた火口湖)



中部支部

## 豊田市上下水道局

### 水道管の秘密を 見て!さわって!体験して! 水道フェスタ in とよしば



「水道フェスタ in とよしば」会場の様子



耐震体験管展示

豊田市上下水道局では水道週間に合わせ、市民の皆様へ水道事業の現状等について理解を深めていただくことを目的として「水道フェスタ in とよしば」を開催しました。

普段見ることのできない水道管や耐震管などの展示や、水道水を利用する皆さんに知ってもらいたい水道事業や料金のことが記載されたパネル展示のほかに、音楽好きの市職員が集まって結成されたバンドの生演奏やぶかぶか人形すくいなど、子供から大人まで楽しめる内容に、地元の小中学生や家族連れなど多くの方が訪れ賑わいました。

耐震体験管では思い切り引っ張っても抜けない耐震管の強さを体験してもらい、「私の地域には耐震管が入っているの?」と局職員に質問している方も見られ、水道というインフラの関心度の高さが伺えました。

市民の皆様へ水道事業の現状等について理解を深めていただくためにも、「水道週間」や「水の週間」などに合わせ、市民への周知活動を引き続き実施していきたいと思っています。



水道事業や料金に関するパネル展示



バンド演奏の様子



関西支部

## 三田市上下水道部

### 3年ぶりの水道週間イベント開催

三田市上下水道部では、水道週間に合わせ浄水場の見学会を開催しています。

近年はコロナ禍による感染状況に配慮し、令和2年度から水道週間に関するイベントを中止していましたが、令和4年度より再開することといたしました。

イベントの再開に際しては、少しでも市民の皆様には水道事業への関心を深めていただくため、新たな取り組みとして市役所本庁舎1階ロビーに展示スペースを設け、耐震継手構造が分かるダクタイル鉄管(GX形)のカットサンプル模型やパネルを使って、管路耐震化の有効性を理解していただく展示を行いました。

また、浄水場の見学会では、模擬実験装置を使い河川から取水した原水にPACを加えることにより、凝集沈殿・ろ過していく様子や、活性炭による浄化能力を体験していただくと共に、場内施設や中央監視室を見学していただきました。参加者からは使用後の活性炭の再利用や、三田市の水道水の性質(軟水)についての質問があり、環境に対する関心の高さがうかがえました。

2年ぶりの開催でしたが、水道週間のイベントを通してお客様とご一緒し職員一人ひとりが水道事業に向き合ういい機会になったと感じています。

今後も手作りながら心こもったイベントを続けていくことで、お客様と職員がつながる機会を大切にしていきたいと思っております。



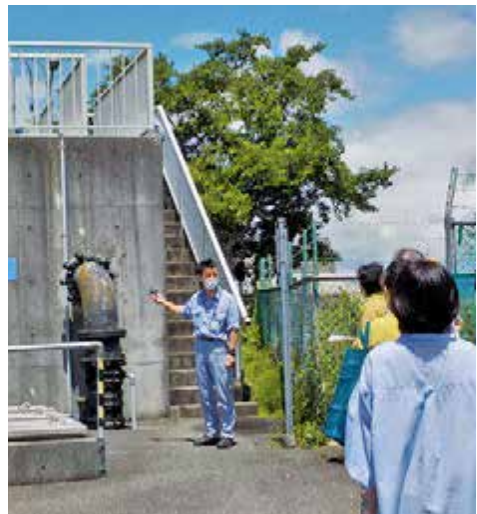
パネル展示



監視室



給水車展示



場内見学



中国四国支部

## 米子市水道局

### 未来への技術継承に向けて



座学 1



座学 2



座学 3

米子市水道局では、職員及び指定工事事業者を対象に配管技術の習得と現場における指揮レベルの向上を目的として、平成18年から毎年、配管講習会を開催しています。現場経験のある技術系職員の退職に伴い技術の継承が難しくなる中、職員の技術力を確保し日々の業務の質を高めるとともに、近年多発する自然災害において被災地の復旧支援に赴く際、迅速に復旧作業にあたることのできるよう研鑽を積んでいます。

今年度、指定工事店に向けては、日本ダクタイル鉄管協会から講師を招き、「ダクタイル鉄管の施工と施工管理のポイント」について講習会を実施しました。一方、職員に向けては、数年かけて講習会を受講し、米子市水道局配管工資格の登録を目指します。講習会は、「労働安全対策」の座学に始まり、铸铁管継手（フランジ形、K形、GX形）の施工、各種配管材料の接合、分水栓分岐からメーター取付け、漏水の修繕などの実技を行います。指導は技術系職員が行い、製品の特長や施工方法、管理、安全対策などの説明を受けながら、事務系職員を含めた希望する職員全員が課題に取り組みます。

講習会を受講し、定められた水準以上の技術を習得したと認められた職員には、米子市水道局配管工の資格が与えられ、次の講習会では受講者の指導にあたります。講習終了後には、指導者、受講者双方の意見をもとに講習内容の改善点などを総括し、今後の講習会がより良いものとなるよう、職員全体で講習会のレベルアップを図っています。また、新たな取り組みとして今年度は、近隣自治体からの受講生も受け入れました。

米子市水道局では、水道施設の強靱化というハード面での施策はもとより、独自の配管工登録制度と配管技術講習会を通して職員及び指定工事事業者の自己啓発を促し、人材を育成するというソフト面での取り組みにより、将来にわたり安全で安心な水道水を持続的に供給するという水道事業の使命を果たしていきたいと考えます。



講習会(実技)



## 福岡市水道局

九州支部

### 福岡市水道創設 100 周年 ～未来へ、つなぐ。～

未来へ、つなぐ。



福岡市の水道事業は、大正 12 (1923) 年に曲淵ダムと平尾浄水場の完成により始まり、令和 5 (2023) 年 3 月 1 日に 100 周年を迎えます。この節目を迎えるにあたり、福岡市の水道を“未来へ、つなぐ。”決意のもと、本年 3 月から「100 周年記念事業」を実施しています。

平尾浄水場跡 (現・福岡市植物園) でのオープニングイベント、曲淵ダム水源祭での記念植樹、国・県、水源地域・流域など多くの関係者のご臨席のもと開催した記念式典をはじめ、水道事業の歴史等を紹介する特設サイトの開設やマスメディアとのタイアップ事業など、広報事業を実施しています。今後も子ども向け職業体験プログラム「Out of KidZania」など多彩なイベントや広報事業を予定しており、周年史の編纂も進めています。

これらの事業を通じて、これまで福岡市の水道事業を支えていただいた市民をはじめ水源地域・流域など、全ての関係者の皆さまに「感謝」を伝えるとともに、世界トップの低い漏水率など福岡市水道の「スゴイ!」を知っていただきたいと考えています。また、今後も環境の変化に柔軟に対応し、様々な課題の解決に果敢にチャレンジしながら、持続可能な水道事業の実現を目指す「決意」を発信してまいります。



「曲淵水源祭」(6月1日)



「100 周年記念式典」(8月26日)



海水淡水化水「飲む海水」リニューアル発表

## Out of KidZania 福岡市水道局

～大切な水をつくる・届ける・守る仕事～

!! 参加者募集中!!



**開催日** 10月8日(土)・9日(日)

**会場** 福岡市水道局ほか

**参加費** 2,500円(税込)

**対象** 福岡市内在住の  
小学4年生～小学6年生

**内容** 水道局職員として、  
水道管工事や漏水調査などの  
仕事をします

詳しくはオフィシャルサイトをご覧ください

**キッズニア 福岡市水道局**

申込期間 8月11日(金)～8月31日(木)17時まで





Out of KidZaniaは、キッズニアが提供する体験型職業体験プログラムです

「Out of KidZania」



私の好きな  
時間

# UVレジンで アクセサリー 作り



広島市水道局 技術部  
維持担当部長

鬼村 和人



YouTube を検索すると、「簡単〇〇術」とか「たった3つの材料で作る〇〇」など興味をそそられるタイトルの動画がたくさん見つかります。何かに挑戦しようとしたときに、大概のことはYouTubeを参考にできるので便利な世の中になったものだと感心しています。おかげでこれまで壁紙の貼替えやテーブルの塗装替え、チーズケーキ作りなど、いろいろなことに挑戦することができました。

そんな中、2年前にUVレジンを使ったアクセサリー作りに出会い夢中になりましたので、下手の横好きではありますがその一端をご紹介します。

## 1. きっかけ

はじめからアクセサリーを作ろうと思っていたわけではありません。最初は重箱などに施される螺鈿（らでん）という技術に魅せられて、螺鈿漆器を作りたいと思いYouTubeを検索しました。しかし、漆塗りは材料費が高いうえ製作に時間がかかることが分かったので、もっと手軽にできるものはないかと検索を続け、UVレジンを使った螺鈿風ペンダント作りを紹介しているチャンネルを見つけたのがきっかけです。



## 2. UVレジンとは

UVレジンとは、紫外線やLEDライトを照射することにより硬化する液体で、シリコン製のモールド（型）を使えば、簡単に色々な形のものを作ることができます。紫外線の照射には市販のUVライトを使用し、2分程度で硬化させることができます。

また、硬化前に専用の着色剤を混ぜることで様々な色のものができますし、ドライフラワーや金箔などを封入することもできます。硬化後にはUVネイルで表面を色付けすることができますし、ヤスリで削ったり逆にUVレジンを追加して形を整えたりすることもできますので少々失敗しても修復できます。



ドライフラワーのバレッタ

ただし、硬化前に着色剤を混ぜる場合は、できた気泡を硬化前にしっかり取り除くことや、黒など濃い色は紫外線が透過しにくいので、何層にも分けて照射することが美しい仕上がりのためのコツとなります。



### 3. アクセサリー作り

アクセサリーは、UVレジンで作った本体と、指輪やイヤリングなどの金属パーツを組み合わせて作ります。飾付けには、ドライフラワーやシェル、金箔、パール、ストーンなどのデコレーションパーツを駆使することで、様々なパターンのもので作ることができます。デコレーションパーツやUVネイルなどは、ネットショップのほか専門店や100均で購入します。パーツやネイル関連の商品をお店で買う場合は、ほぼ女性だけの中に突入することとなるので今でも勇気がいりますが、おどおどするとかえって怪しいおじさんになってしまいますので敢えて堂々と振舞っています。



シーグラス風ヘアクリップ

アクセサリーの製作手順は様々ですが、主にはUVレジンで本体を作り、金属パーツとくっつけて仕上げのデコレーションを追加して完成します。最初のころはひとつ作るのに2時間から長い時で4時間ほどかかっていましたが、最近では簡単なものは1時間程度で製作できるようになりました。

これまで指輪やイヤリング、ピアス、バレッタ、ヘアクリップ、ヘアゴム、ヘアピン、ペンダントなど、YouTubeを見て気に入ったものを手当たり次第に真似して作ってきましたが、初めてイヤリングを作ったときはどういう構造が知らなかったので戸惑いました。特に、ぶらぶらするタイプのイヤリングを作る場合、耳たぶの向きを考えて飾り面を正面に向けるのか左右に向けるのかが分からず悩みました。

### 4. 作る楽しさと使われる喜び

最初のころは面白くて土日で2~4個作っていたのでかなりの数になりましたが、身につけるものですから好みが分かれ、全く使われない可哀なものもあります。妻や二人の娘たちが使ってくれていますが、デザインや色味の好みはみんな違うことが改めて分かりました。



ターコイズ風イヤリング

そんな中、ときどき娘が友人や先輩にイヤリングを褒められたと言ってくれます。「父が作った」と説明すると、「お父さんも着けるの?」とよく聞かれるそうです。私は着けませんけどね。そもそも私のようなおじさんがアクセサリーを作ると言ったら、「え?」という反応が多いです。想定外のことが起きて思考停止に陥るようです。

なんでもそうですが、自分で物を作るというのは達成感が得られるものです。特にアクセサリーに関しては妻や娘が使ってくれるのが嬉しいです



指輪

し、リクエストが来たときはやる気が倍増します。

最近は近くを見るのに眼鏡を外さなければ焦点が合いませんので、アクセサリーを作った後は目がとても疲れますが、今後はより手の込んだ豪華な見た目のアクセサリーに挑戦してみようと思っています。また、アクセサリー以外ではスマホケースなどのデコレーションや、魚釣りで使うルアー作りなどにも挑戦したいと思っています。イメージどおりにできたときの達成感と、自分で作ったものが実際に使われる喜びをモチベーションに、これからもUVレジンで色々なものを作っていきたいと思っています。

## 2022年度日本ダクティル鉄管協会セミナー開催予定

支部	開催日・開催場所	講師	テーマ
北海道	11月1日 札幌市	会津若松市上下水道局 副局長兼上水道施設課長 鈴木 勇人 氏	会津若松市水道事業における水道わかまつ アクションプランと水道 DX の取組
		旭川工業高等専門学校 校長(北海道大学名誉教授) 五十嵐 敏文 氏	公共事業で発生する自然由来重金属等への対応 ～北海道新幹線建設を例として～
東北	10月26日 仙台市	北海道大学大学院 工学研究院 環境工学部門 環境リスク工学研究室 教授 松井 佳彦 氏	水道水質基準と レギュレトリーサイエンス
		熊本市上下水道局 計画整備部 計画調整課 技術監理室 室長 本田 義晴 氏	熊本地震からの復旧 ～災害対応管路としての品質管理～
	2023年1月19日 盛岡市	金沢大学 名誉教授 宮島 昌克 氏	上水道防災のすすめ ～耐震化から強靱化へ～
		独立行政法人 水資源機構 理事 熊谷 和哉 氏	水道第四世代の創生
関東	7月20日 さいたま市 終了しました	横浜市水道局 配水部長 江夏 輝行 氏	水道料金改定と管路整備
		東京大学工学系研究科 社会専攻 教授 沖 大幹 氏	水と気候変動と持続可能な開発
	9月6日 新潟市 終了しました	八戸圏域水道企業団 工務課長 内宮 靖隆 氏	ICT 技術を活用した耐震管布設工事
		東京大学生産技術研究所 准教授 清田 隆 氏	液状化防災の高度化に関する研究紹介
	9月30日 水戸市 終了しました	石巻地方広域水道企業団 建設課 技術副参事兼建設課長補佐兼建設管理係長 佐々木 知洋 氏	東日本大震災に係る水道施設の復旧
		筑波大学 システム情報系 教授 庄司 学 氏	上下水道インフラの防災・減災技術
	11月7日 長野市	厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課長 名倉 良雄 氏	最近の水道行政と今後の水道について
		東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 教授 長岡 裕 氏	これからの水道技術の考えかた — 水源・浄水場・管路・ユーザーの直列 システム全体をとらえることの重要性 —
	12月1日 静岡市	新潟市水道局 秋葉事業所 所長 山本 真司 氏	新潟市における 「施設能力の適正化」の取り組み
		京都大学大学院 工学研究科 教授 清野 純史 氏	ライフライン地震防災と今後の展望
2023年1月25日 千葉市	公益財団法人 給水工事技術振興財団 専務理事 石飛 博之 氏	未定	
	東京都立大学 都市環境学部 特任教授 水道システム研究センター 所長 小泉 明 氏	未定	

支部	開催日・開催場所	講師	テーマ
中部	11月28日 名古屋市	呉市上下水道局 技術部 副部長 増木 誠治 氏	豪雨災害後の災害に強いまちづくりの 推進について
		東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 教授 長岡 裕 氏	これからの水道技術の考えかた — 水源・浄水場・管路・ユーザーの直列 システム全体をとらえることの重要性 —
関西	9月13日 大阪市 終了しました	千葉大学大学院 工学研究院 融合理工学府 地球環境科学専攻 都市環境システムコース 教授 丸山 喜久 氏	近年の自然災害時における ライフライン施設の機能支障
		東海国立大学機構 名古屋大学 減災連携研究センター 共創社会連携領域 准教授 平山 修久 氏	水道文明と水道文化から レジリエントな水道を考える
	11月15日 京都市	京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻 環境システム工学講座 教授 伊藤 禎彦 氏	水道料金値上げに対する容認度を 高めるためのコミュニケーション技術
		石巻地方広域水道企業団 建設課 技術副参事兼建設課長補佐兼建設管理係長 佐々木 知洋 氏	東日本大震災に係る水道施設の復旧
関西・ 中国四国 共催	2023年1月17日 高知市	関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科 教授 飛田 哲男 氏	未定
		熊本市上下水道局 計画整備部 計画調整課 技術監理室 室長 本田 義晴 氏	熊本地震からの復旧 ～災害対応管路としての品質管理～
中国 四国	11月17日 広島市	東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 准教授 荒井 康裕 氏	未定
		公益財団法人 水道技術研究センター 常務理事 清塚 雅彦 氏	水道の事故と アセットマネジメント
九州	10月13日 福岡市 終了しました	近畿大学経営学部経営学科商学研究科 教授 浦上 拓也 氏	水道事業の持続可能性について
		公益財団法人 水道技術研究センター 常務理事 清塚 雅彦 氏	水道の事故と アセットマネジメント
	11月29日 那覇市	千葉大学大学院 工学研究院 融合理工学府 地球環境科学専攻 都市環境システムコース 教授 丸山 喜久 氏	近年の自然災害時における ライフライン施設の機能支障
		福岡市水道局 整備推進課長 田中 辰夫 氏	福岡市における配水管の更新・耐震化の 取り組みについて

## 埼玉会場【7月20日】



横浜市水道局 配水部長 江夏 輝行 氏



東京大学工学系研究科 教授 沖 大幹 氏



ロビーではパネル展示等も

### 暮らしをつくる。未来をつくる。―「下水道展'22東京」に出展

8月2日～5日の4日間、東京ビッグサイトで「下水道展'22東京」が開催され、日本ダクタイトイル鉄管協会も「下水道・暮らしの未来を支えるダクタイトイル鉄管」をテーマとして出展しました。

ブースでは強靱で持続可能なライフラインを構築するダクタイトイル鉄管を表現し、メイン展示を円形で構成しました。通路を行き交う来場者に向けて、デザインマンホール蓋や大型モニターでブースをアピールするほか、GX形管やNS形E種管のカットサンプルをパネルとともに紹介し、耐震手動模型やGX形伸縮手動模型などを触って構造を理解していただきました。ブースには1日約100人前後が来場し、来場者からは、ダクタイトイル鉄管の設計についての質問なども寄せられ盛況を呈しました。



# 規格ニュース

## JWWA G 113,114 (水道用ダクタイル鋳鉄管, 異形管)

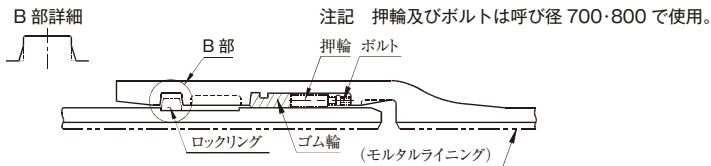
## JWWA G 120,121 (水道用GX形ダクタイル鋳鉄管, 異形管)

下記の表の内容を主な改正点として、令和4年7月15日付けで改正された。

表 主な改正点

規格	接合形式	改正前(2015年版)	改正後(2022年版)	改正内容【理由】
JWWA G 113 ・ 114	NS形	(改正点なし)		-
	S形	(改正点なし)		-
	US形	SB方式、VT方式、LS方式	(LS方式のみとなり方式の <b>規定なし</b> )	SB・VT方式を削除【出荷実績がなくなりLS方式に集約】
	PⅡ形	(規定あり、呼び径300~1350)	( <b>規定なし</b> )	PⅡ形を削除【出荷実績がなくなった(PN形に移行)】
	PN形	①セットボルトのある継手構造 ②異形管は、受挿し短管(呼び径300~1100)のみ	①セットボルトの <b>無い</b> 継手構造 ②異形管は、受挿し短管(呼び径300~1100)、 <b>曲管(400~1500)</b> ③直管は、通常の直管と <b>DGタイプの2種類</b> (更に、解説で溶接リング付き、フランジ・リップ付きが記載)	JDDPA G 1046のPN形に変更【改正前の継手構造の管の出荷実績がほとんどなくなり、改正後のものに置き換わった】 ①継手構造を下記の図に示す ③【直管の押込み配管で施工延長を伸長等できるラインアップが追加された】
	UF形	(改正点なし)		-
	K形	T頭ボルト・ナットはダクタイル鋳鉄製	T頭ボルト・ナットはダクタイル鋳鉄製 <b>又はステンレス鋼製</b>	T頭ボルト・ナットの材料にステンレス鋼を追加【耐食性向上】
	T形	直管：呼び径75~2000 異形管：呼び径75~250	直管：呼び径75~ <b>250</b> 異形管：呼び径75~250	呼び径300~2000の直管を削除【前回改正以降の出荷実績がほとんどない】
	U形 フランジ形	(改正点なし)		-
JWWA G 120 ・ 121	GX形	①対象呼び径75~300・400 ②75~300の各呼び径で1種類のG-Link ③〔呼び径75~250ゴム輪(直管用、P-Link用)〕	①対象呼び径75~ <b>400</b> ②75~300の各呼び径で <b>2種類</b> のG-Link ③〔呼び径75~250ゴム輪(直管用、P-Link用)〕	①呼び径350を追加(400と同様にP-Link、G-Linkの規定なし) ②新しい形状・寸法のG-Link追加(離脱防止性等の性能及び施工方法に差異はなく、使い分けはない) ③形状・寸法、物性を変更【呼び径300・400のゴム輪の形状・物性を取り入れて改良】

(呼び径 300~800)



(呼び径 900~1500)

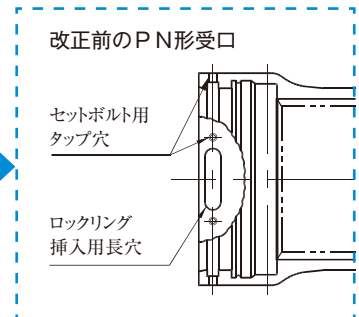
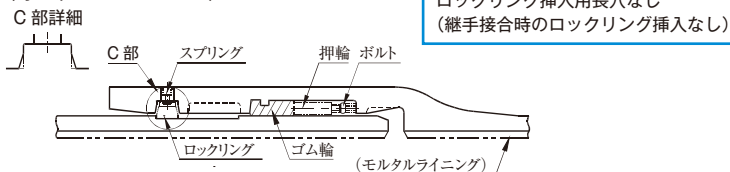


図 PN形の継手構造

# HINODE

## IoTを活用した 管網管理の効率化

### 流況監視ユニット

センサで計測した水圧や流量などの流況を  
アンテナとバッテリーを搭載した鉄蓋からクラウドに送信  
事務所やスマートフォンから流況の遠隔常時監視を  
可能にするボックスユニットです



詳しい特長はこちら

日之出水道機器株式会社

本社 / 福岡市博多区堅粕5-8-18(ヒノデビルディング) Tel(092)476-0777  
<https://hinodesuido.co.jp>

## 日本の上下水道を支える —— TOHYAMAの鑄鉄管



■ 営業品目

上・下水道用 }  
工業用下水道用 } ダクタイル鑄鉄管  
ポンプ用 } (口径75mm~3,000mm)



[〇] 日本ダクタイル異形管工業会会員

株式会社 遠山鐵工所

本社 埼玉県久喜市菟浦町昭和18番地  
☎0480(85)2111 FAX0480(85)7100

# 浄水場・配水池・水処理センターの建設、更新に 丸マークのフランジ形異形管



豊富な管種、安定した品質、確実な納期で九州鑄鉄管の製品は日本全国で活躍しています。

 **九州鑄鉄管株式会社**

<http://www.kyuchu.co.jp>

本 社：福岡県直方市大字上新入1660-9

TEL 0949-24-1313

東京支店：東京都千代田区内神田2-7-12 第一電建ビル401号

TEL 03-3525-4551

## ホームページで便覧がダウンロード できるようになりました。



そのほか、各種技術資料もダウンロードできます。



(一社) 日本ダクタイル鉄管協会



## 編集後記

- 巻頭言には3年ぶりに開催となった全国会議(水道研究発表会)の開催地名古屋市の河村市長に「名古屋市水道事業における施設整備」と題して長期的な視点に立ったアセットマネジメントによる名古屋市の計画的な更新事業の取り組みに関して原稿をいただきました。
- 座談会は、「水道マンを育てる土壌 ～名古屋市の技術の継承と人材育成について～」と題して、新型コロナウイルス感染症対策を行い、107号以来の対面で実施しました。全国の水道事業体の悩みは遅々として進まない更新・耐震化、そして技術の継承・人材育成にあります。名古屋大学の平山准教授をお招きして、名古屋市における人材育成プログラムの紹介、職員に対する技術継承の取り組み、工事業者の育成・ポイント、周辺事

業体との意見交換など、多くの水道事業体が参考にすべき意見を頂戴しました。先生からも貴重な提言も頂きましたので、ぜひご一読ください。

- 技術レポートでは大口径管の更新、小規模簡易DB方式による配水管布設替、他企業管との共同推進工事、道路架け替え工事に伴う水管橋設置工事、GX形、NS形E種を採用した事業体からの報告など、他事業体の参考となる6本のレポートを掲載しています。
- 新型コロナウイルス対策として、マスクの着用、手洗い、うがいが欠かすことができません。手洗い、うがいをするためには水道水が必要です。あらためて安全で安心な水道水を持続的に供給されている全国の水道事業体職員に感謝申し上げます。

## ダクタイトイル鉄管第111号〈非売品〉

2022年10月15日発行

編集兼発行人 木 村 康 則

発 行 所 一般社団法人  
日本ダクタイトイル鉄管協会  
(<https://www.jdpa.gr.jp>)

本部・関東支部	〒102-0074	東京都千代田区九段南4丁目8番9号(日本水道会館)
		電話03(3264)6655(代) FAX03(3264)5075
関 西 支 部	〒542-0081	大阪府中央区南船場4丁目12番12号(ニッセイ心斎橋ウエスト)
		電話06(6245)0401 FAX06(6245)0300
北 海 道 支 部	〒060-0002	札幌市中央区北2条西2丁目41番地(札幌2・2ビル)
		電話011(251)8710 FAX011(522)5310
東 北 支 部	〒980-0014	仙台市青葉区本町2丁目5番1号(オーク仙台ビル)
		電話022(261)0462 FAX022(399)6590
中 部 支 部	〒450-0002	名古屋市市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)
		電話052(561)3075 FAX052(433)8338
中国四国支部	〒730-0032	広島市中区立町2番23号(野村不動産広島ビル8階)
		電話082(545)3596 FAX082(545)3586
九 州 支 部	〒810-0001	福岡市中央区天神2丁目14番2号(福岡証券ビル)
		電話092(771)8928 FAX092(406)2256

# 水をつなぐ、 しあわせをつむぐ

安心できる水と暮らしている人のために、  
その水をつなぐために努力する全ての人と共に、  
日本鑄鉄管は、技術と知識で  
安心できる暮らしと構造を実装します。



## 日本鑄鉄管株式会社

本社 | 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル ☎ 03-3546-7675  
久喜工場 | 〒346-0193 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼一番地 ☎ 0480-85-1101  
支社 | 北海道支社、東北支社、中部支社、九州支社



[www.nichu.co.jp](http://www.nichu.co.jp)

For Earth, For Life  
クボタ

# ON YOUR SIDE

1890年の創業から「食料・水・環境」の課題解決に向けて歩んできたクボタ。  
これからも一歩一歩、すべての人と心をひとつに、明日へと進み続けます。

株式会社クボタ